

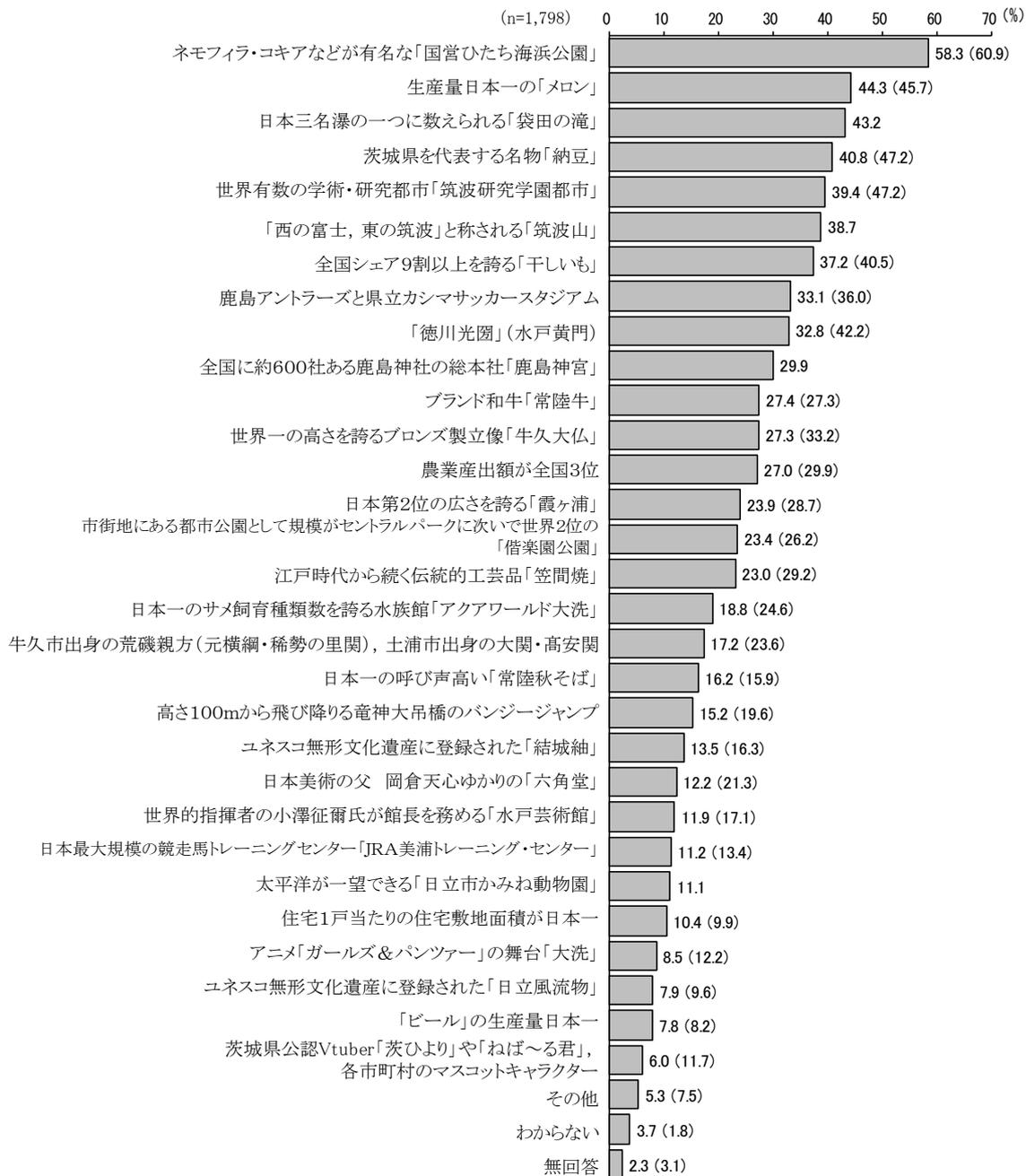
VIII 茨城県民の郷土愛

1. 茨城県の魅力

(1) 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

－「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が約6割－

問28 茨城県には、以下のような特徴がありますが、あなたが知人に自慢したいもの（自慢したいこと）は何ですか。（〇はいくつでも）



※（ ）内の数値は、平成30年の調査結果

※「茨城県を代表する名物「納豆」」は、平成30年では「「納豆」の生産量日本一」，「農業産出額が全国3位」は、平成30年では「農業産出額が北海道に次いで全国2位」，「牛久市出身の荒磯親方（元横綱・稀勢の里関），土浦市出身の大関・高安関」は、平成30年では「牛久市出身の横綱・稀勢の里関，土浦市出身の大関・高安関」，「茨城県公認Vtuber「茨ひより」や「ねば〜る君」，各市町村のマスコットキャラクター」は、平成30年では「「ハッスル黄門」や「ねば〜る君」，各市町村のマスコットキャラクター」

知人に自慢したいもの（自慢したいこと）としては、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」（58.3%）が約6割で最も高く、次いで、「生産量日本一の「メロン」」（44.3%）と「日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」」（43.2%）が4割台半ば、「茨城県を代表する名物「納豆」」（40.8%）と「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」（39.4%）、「西の富士、東の筑波」と称される「筑波山」」（38.7%）、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」（37.2%）が約4割で続いている。

－「徳川光圀（水戸黄門）」と「日本美術の父 岡倉天心ゆかりの「六角堂」」が共に約9ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「徳川光圀（水戸黄門）」と「日本美術の父 岡倉天心ゆかりの「六角堂」」が共に約9ポイント減少している。

－県北で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が約7割、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」が約5割－

地域別でみると、県北では「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」（69.1%）が約7割、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」（48.7%）が約5割と、それぞれ最も高くなっている。

－鹿行で「鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム」、「全国に約600社ある鹿島神社の総本社「鹿島神宮」」が約7割、「生産量日本一の「メロン」」が5割台半ば－

地域別でみると、鹿行では「鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム」（69.3%）と「全国に約600社ある鹿島神社の総本社「鹿島神宮」」（69.3%）が約7割、「生産量日本一の「メロン」」（54.6%）が5割台半ばと、それぞれ最も高くなっている。

－県南、県西で「西の富士、東の筑波」と称される「筑波山」」が約5割－

地域別でみると、「西の富士、東の筑波」と称される「筑波山」」は、県南（50.7%）と県西（49.6%）で約5割と高くなっている。

－女性で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が男性より約19ポイント、「生産量日本一の「メロン」」が男性より約11ポイント、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」が男性よりも約14ポイント高い－

性別でみると、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」は、女性（66.9%）が男性（48.0%）よりも約19ポイント、「生産量日本一の「メロン」」は、女性（48.8%）が男性（38.2%）より約11ポイント「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」は、女性（43.2%）が男性（29.4%）よりも約14ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が7割台半ば－

性・年齢別でみると、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」は、女性の18～29歳（75.0%）で7割台半ばと最も高く、次いで、女性の50代（71.3%）と60～64歳（71.0%）で7割を超えて高くなっている。

－女性の60～64歳で「生産量日本一の「メロン」」が約6割－

性・年齢別でみると、「生産量日本一の「メロン」」は、女性の60～64歳（57.9%）で約6割と最も高くなっている。

－女性の70歳以上で「日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」」が約6割－

性・年齢別でみると、「日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」」は、女性の70歳以上（57.3%）で約6割と最も高く、次いで、男性の70歳以上（54.3%）と女性の65～69歳（53.5%）で5割台半ばと高くなっている。

－女性の70歳以上で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が5割台半ば－

性・年齢別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」は、女性の70歳以上（53.7%）で5割台半ばと最も高く、次いで、男性の70歳以上（52.7%）で5割を超えて高くなっている。

－男性の70歳以上で「「西の富士，東の筑波」と称される「筑波山」」が約5割－

性・年齢別でみると、「西の富士，東の筑波」と称される「筑波山」は、男性の70歳以上（50.5%）で約5割と最も高くなっている。

図Ⅷ 28-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

（地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別、居住年数別—上位14項目）

ネモフィ
ラ・コキア
などが有名
な「国営ひ
たち海浜公
園」

生産量日本
一の「メロ
ン」

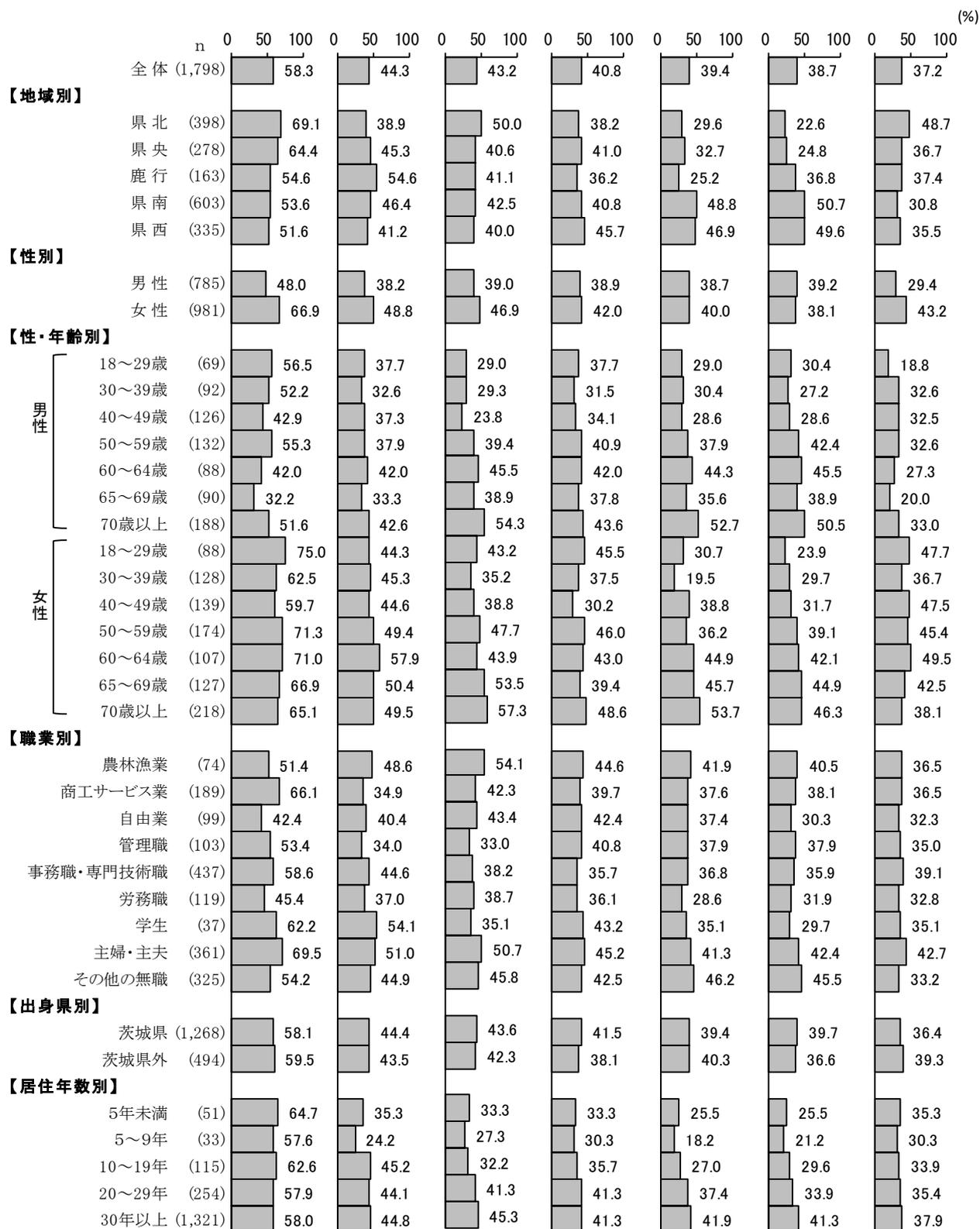
日本三名瀑
の一つに数
えられる
「袋田の
滝」

茨城県を代
表する名物
「納豆」

世界有数の
学術・研究
都市「筑波
研究学園都
市」

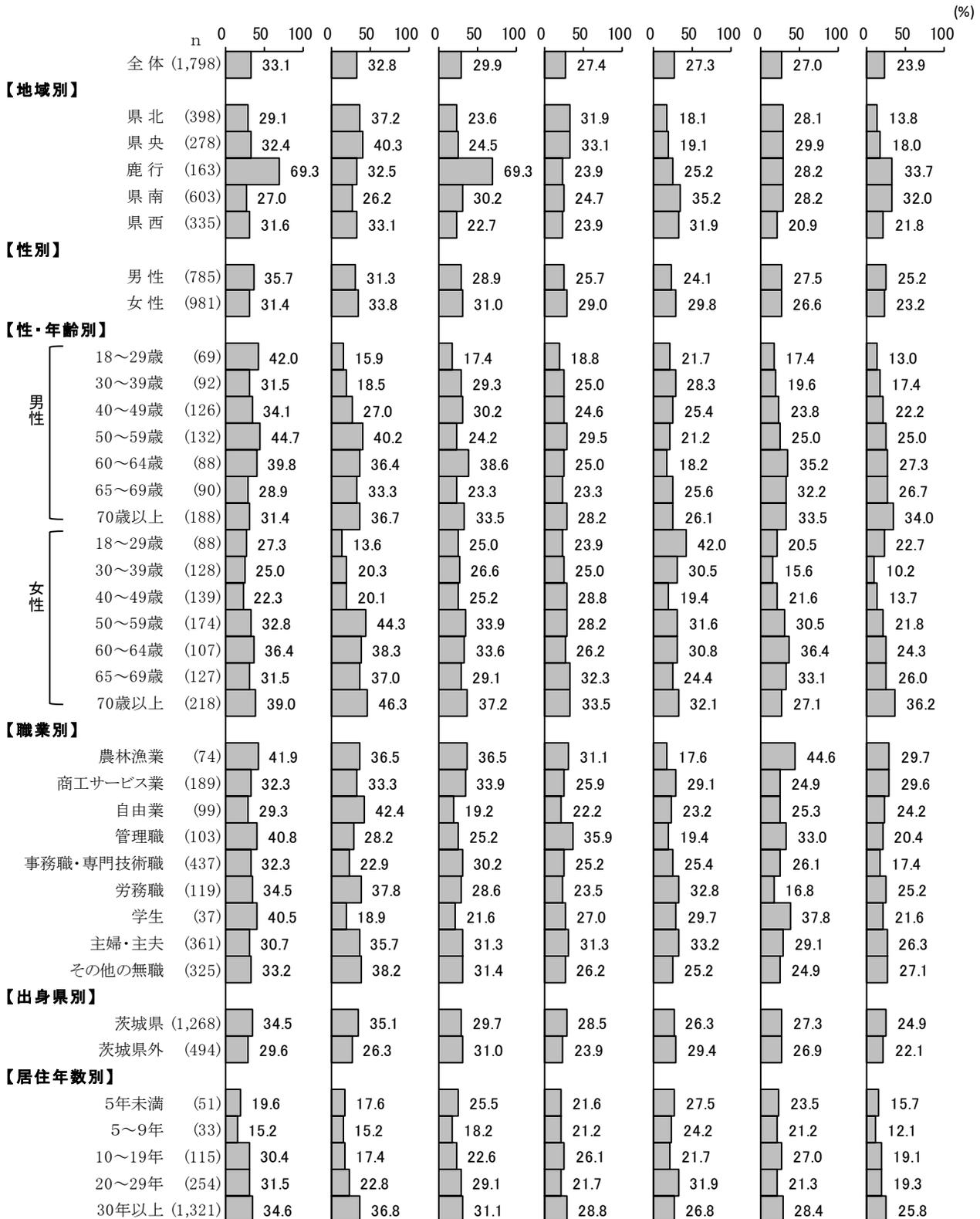
「西の富
士、東の筑
波」と称さ
れる「筑波
山」

全国シェア
9割以上を
誇る「干し
いも」



〈続き〉 図Ⅷ 28-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）
 （地域別，性別，性・年齢別，職業別，出身県別，居住年数別—上位14項目）

鹿島アントラーズと立カシマサッカースタジアム
 「徳川光圀」（水戸黄門）
 全国に約600社ある鹿島神社の総本社「鹿島神宮」
 ブランド和牛「常陸牛」
 世界一の高さを誇るブロンズ製立像「牛久大仏」
 農業産出額が全国3位
 日本第2位の広さを誇る「霞ヶ浦」



表Ⅷ 28-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）
（前回調査との比較－上位5項目）

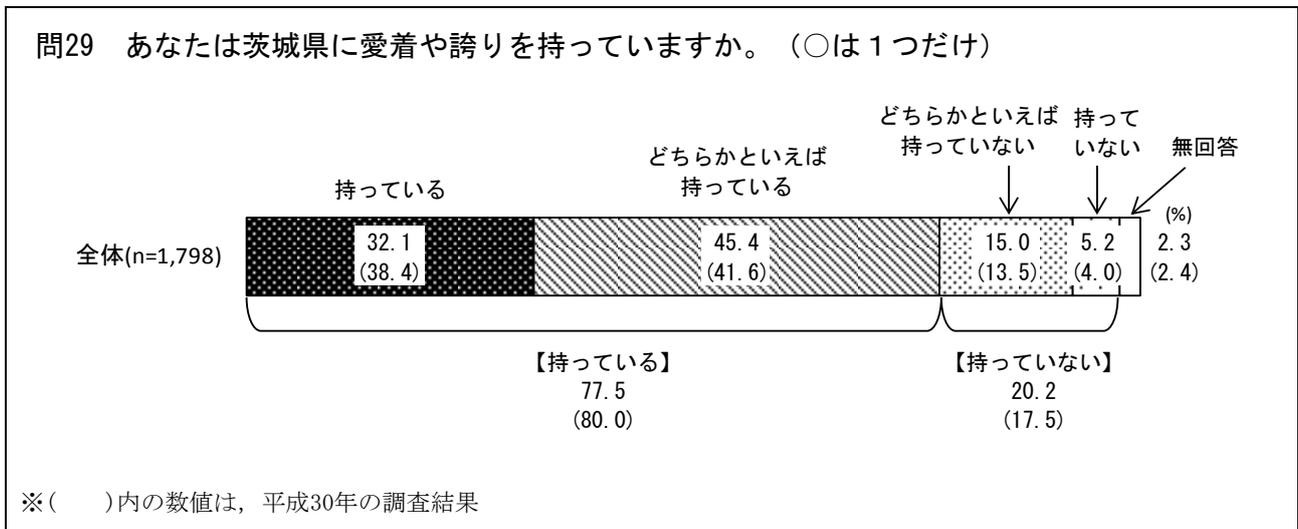
（単位：％）

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査（R1） n=1,798	ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」 58.3	生産量日本一の「メロン」 44.3	日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」 43.2	茨城県を代表する名物「納豆」 40.8	世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」 39.4
前回調査（H30） n=1,681	ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」 60.9	世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」 47.2	「納豆」の生産量日本一 47.2	生産量日本一の「メロン」 45.7	「徳川光圀」（水戸黄門） 42.2

2. 茨城県に対する愛着や誇り

(1) 茨城県に対する愛着や誇りの有無

－【持っている】が約8割－

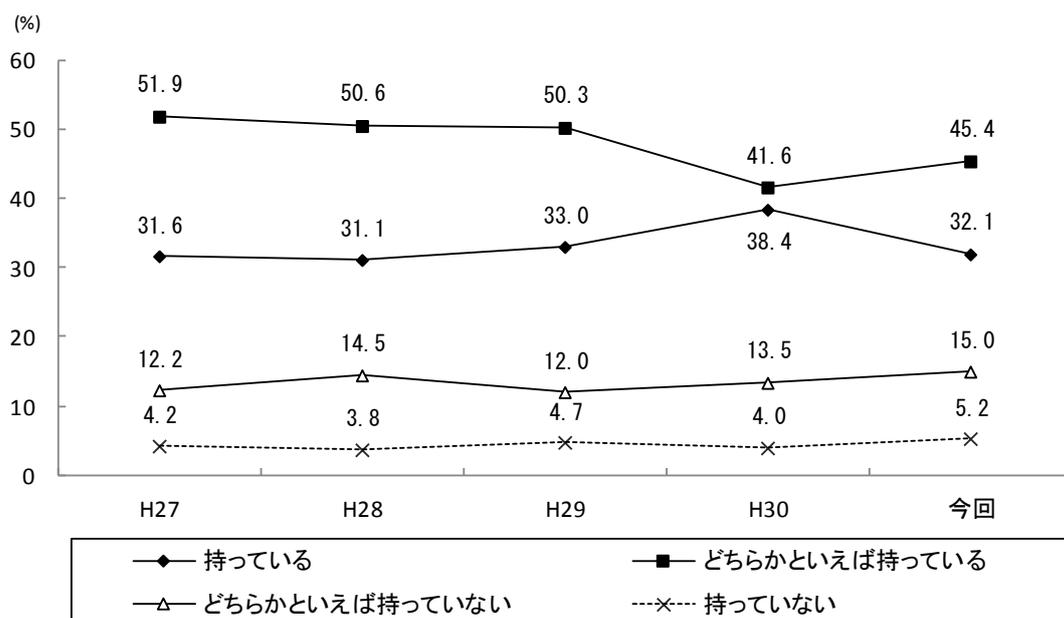


茨城県に対して、愛着や誇りを「持っている」(32.1%)と「どちらかといえば持っている」(45.4%)を合わせた【持っている】(77.5%)が約8割となっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(15.0%)と「持っていない」(5.2%)を合わせた【持っていない】(20.2%)は約2割となっている。

－「持っている」が約6ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「持っている」が約6ポイント減少している。一方、「どちらかといえば持っている」が約4ポイント増加している。

図Ⅷ 29-1 茨城県に対する愛着や誇りの有無(時系列)



－男性の40代，女性の65～69歳で【持っている】が8割超－

性・年齢別でみると，【持っている】は，男性の40代（81.0%）と女性の65～69歳（81.1%）で8割を超えて高くなっている。

－男性の18～29歳で【持っていない】が3割台半ば－

性・年齢別でみると，【持っていない】は，男性の18～29歳（34.8%）で3割台半ばと最も高くなっている。

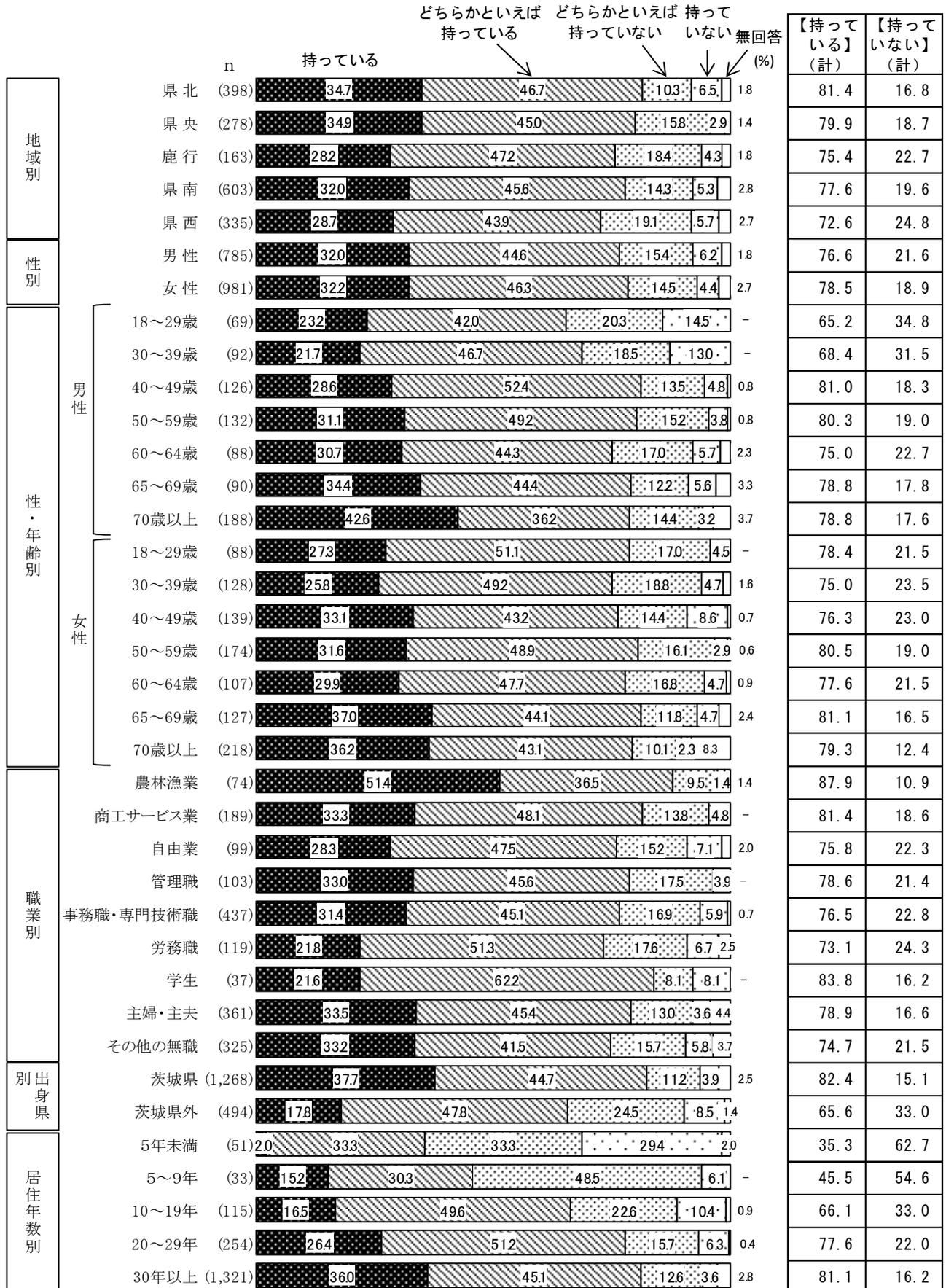
－農林漁業で【持っている】が約9割－

職業別でみると，【持っている】は，農林漁業（87.9%）で約9割と最も高くなっている。

－茨城県出身者で【持っている】が茨城県外出身者より約17ポイント高い－

出身県別でみると，【持っている】は，茨城県出身者（82.4%）が茨城県外出身者（65.6%）よりも約17ポイント高くなっている。

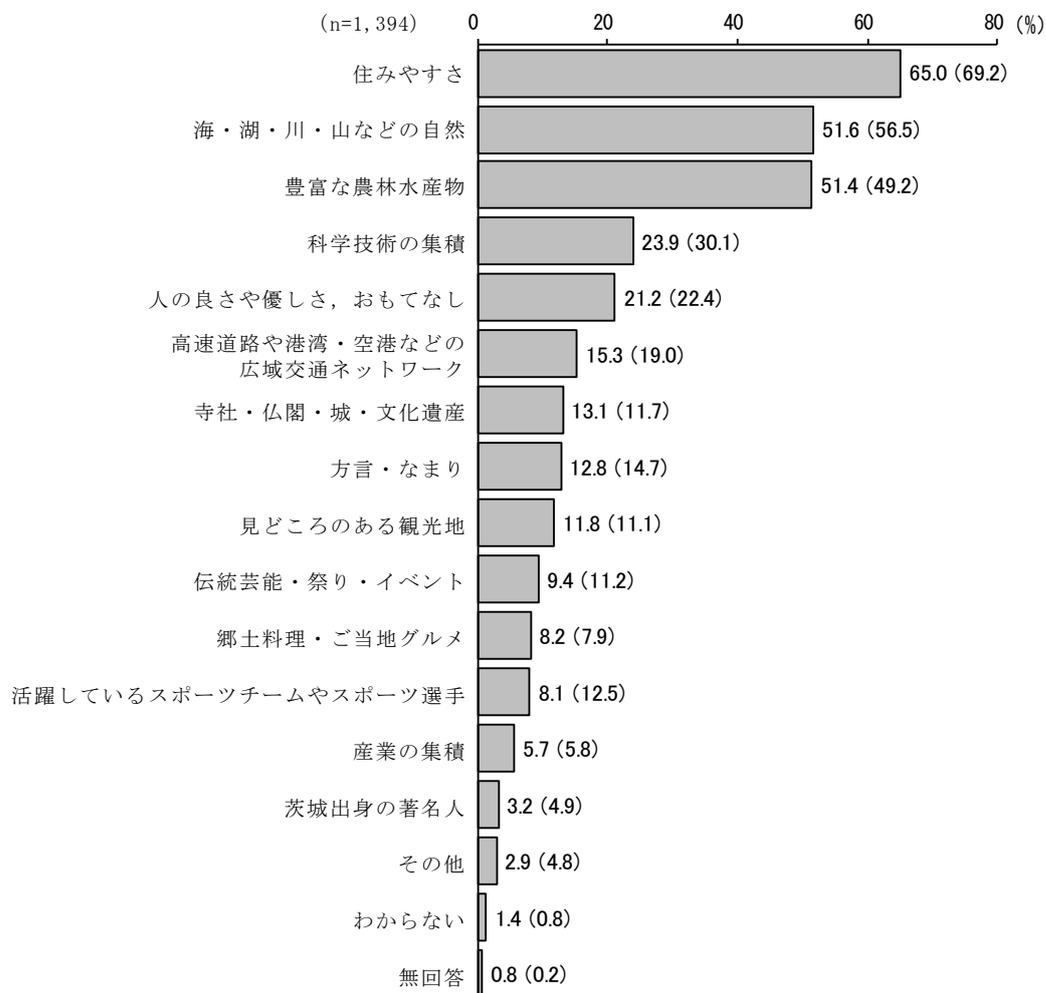
図Ⅷ 29-2 茨城県に対する愛着や誇りの有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)



(2) 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ

－「住みやすさ」が6割台半ば－

(問29で「1. 持っている」、「2. どちらかといえば持っている」と回答した方へ)
問29-1 あなたは、茨城県のどのようなところに愛着や誇りを感じますか。
(○はいくつでも)



※()内の数値は、平成30年の調査結果

茨城県に愛着や誇りを【持っている】と回答した方に、愛着や誇りを感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(65.0%)が6割台半ばで最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(51.6%)と「豊富な農林水産物」(51.4%)が5割を超えて続いている。

－「科学技術の集積」が約6ポイント減少、「海・湖・川・山などの自然」が約5ポイント減少－
前回調査（昨年）と比べると、「科学技術の集積」が約6ポイント、「海・湖・川・山などの自然」が約5ポイント、いずれも減少している。

－女性の60～64歳で「海・湖・川・山などの自然」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、女性の60～64歳（63.9%）で6割台半ばと最も高く、次いで、男性の70歳以上（62.2%）で6割を超えて高くなっている。

－女性の60～64歳，65～69歳，70歳以上で「豊富な農林水産物」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「豊富な農林水産物」は、女性の60～64歳（63.9%）と65～69歳（63.1%），70歳以上（65.9%）で6割台半ばと高くなっている。

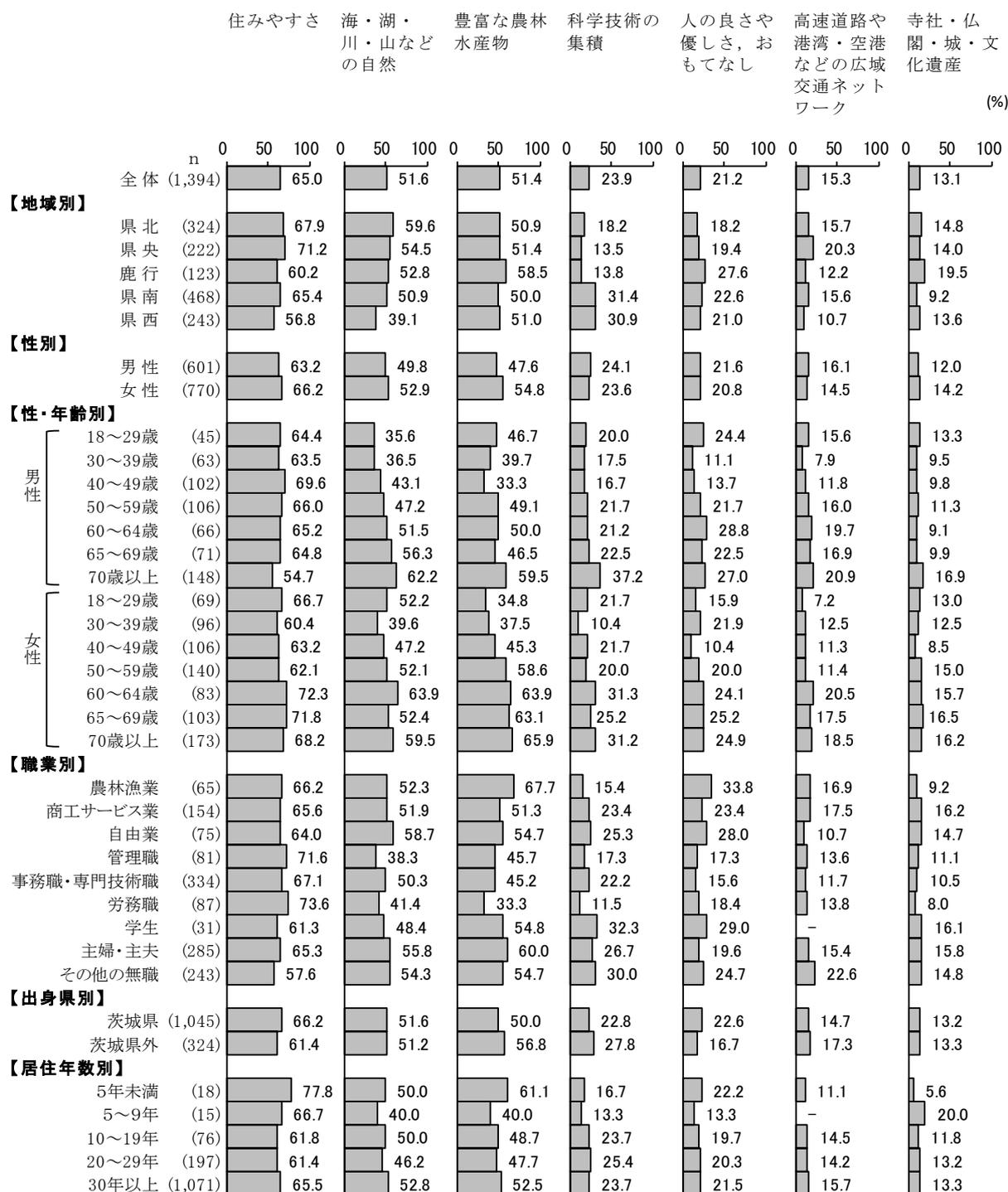
－男性の70歳以上で「科学技術の集積」が約4割－

性・年齢別でみると、「科学技術の集積」は、男性の70歳以上（37.2%）で約4割と最も高くなっている。

－農林漁業で「豊富な農林水産物」が約7割－

職業別でみると、「豊富な農林水産物」は、農林漁業（67.7%）で約7割と最も高くなっている。

図Ⅷ 29-1-1 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別、居住年数別—上位7項目)



表Ⅷ 29-1-1 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (R1) n=1,394	住みやすさ 65.0	海・湖・川・山などの自然 51.6	豊富な農林水産物 51.4	科学技術の集積 23.9	人の良さや優しさ, おもてなし 21.2
前回調査 (H30) n=1,346	住みやすさ 69.2	海・湖・川・山などの自然 56.5	豊富な農林水産物 49.2	科学技術の集積 30.1	人の良さや優しさ, おもてなし 22.4

(3) 特に愛着や誇りを感じるもの・こと（自由記載の集計及び一部抜粋）

－「海・湖・川・山などの自然」が最も多い－

（問29で「1. 持っている」、「2. どちらかといえば持っている」と回答した方へ）

問29－1 選んだ項目について、特に愛着や誇りを感じるもの・ことがあればご記入ください。

順位	項目	件数
第1位	海・湖・川・山などの自然	57
第2位	豊富な農林水産物	46
第3位	自然災害が少ない	37
第4位	住みやすさ	34
第5位	東京に近い／アクセスが良い	25
第6位	気候がよい／温暖	20
第7位	人の良さや優しさ、おもてなし	18
第8位	活躍しているスポーツチームやスポーツ選手	17
〃	生まれ育ったところ、長年住んでいる	17
第10位	平地が多い／土地が広い	10
第11位	高速道路や港湾・空港などの広域交通ネットワーク	9
〃	見どころのある観光地	9
第13位	科学技術の集積	7
〃	伝統芸能・祭り・イベント	7
第15位	のどか・のんびり・ゆったりできる	6
第16位	都会すぎず田舎すぎない	5
〃	方言・なまり	5
第18位	空気がきれい	4
〃	景色が美しい	4
〃	生活が便利	4
〃	茨城出身の著名人	4
〃	郷土料理・ご当地グルメ	4
第23位	車さえあれば生活しやすい	3
〃	寺社・仏閣・城・文化遺産	3
第25位	産業の集積	2
-	その他	22

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

特に愛着や誇りを感じるもの・こと（自由記載）としては、「海・湖・川・山などの自然」が最も多く、次いで、「豊富な農林水産物」「自然災害が少ない」「住みやすさ」が上位に挙げられている。

「海・湖・川・山などの自然」について

【記載内容の一部抜粋】

- 空気がきれい。筑波山や田園の風景。野鳥の啼き声。(女性, 65～69歳)
- 茨城は海あり山あり自然が美しい。そして、水産物も野菜等も豊富で他県に誇れるものだと思います。魅力度ランキングはナンセンスだといつも思っています。(女性, 50～59歳)
- 四季のある国に生まれ育ち、農林水産物・自然に恵まれ感謝ですね。(女性, 70歳以上)
- 海も山も河もあって、平野もあって、自然豊か。野菜が新鮮でおいしい。県南は都心にも出やすい。人口密度が都会より低くて快適。(女性, 30～39歳)

「豊富な農林水産物」について

【記載内容の一部抜粋】

- 美味しい野菜、果物をたくさん食べて元気になりました。(東京から引っ越してきたので)。(女性, 65～69歳)
- 茨城県は、農業県なので、野菜、くだものが豊富で、おいしくて、安い。(女性, 60～64歳)
- お米、肉、魚、野菜、果物など、本当にたくさんの食べ物に恵まれている、素敵な県のひとつだと思います。加えて比較的穏やかな気候も、茨城県民の、身内を大切にしている優しさに影響していると感じています。(内が充実している反面、外からの人、モノ、情報に対するガードが固いかとも思いますが。)(女性, 30～39歳)
- 広大な関東平野を基盤に、東京という大消費地近くでこれだけさまざまな農産物を供給できるということは自慢です。(女性, 65～69歳)

「自然災害が少ない」について

【記載内容の一部抜粋】

- 大きな災害も少なく、平地で、適度に田舎、でも少し足をのばせば自然も都会も満喫できる所。(女性, 40～49歳)
- ①雪が少ない ②台風が少ない ③地震が少ない ④暑すぎない、寒すぎない ⑤がけくずれが少ない、など自然環境が日本一良いと思われる。これをもっとPRしたら良い。(男性, 70歳以上)
- 気候も安定していて自然災害も少なく住みやすい。(男性, 30～39歳)
- 住みやすさでいえば、気候も良く、大きな災害も少ない事。また、茨城にはおいしいものがたくさんあるのでうまくPRできれば、もっと人が来るのではないかと。(女性, 40～49歳)

「住みやすさ」について

【記載内容の一部抜粋】

- 東京から1時間の立地で、海も山もあり、おいしいものも沢山あって住みやすい土地だと思います。(男性, 40～49歳)
- 自然はたくさんあるが、都心にも近いので、住みやすい。(男性, 18～29歳)
- 温暖で災害も少なく、気候に恵まれて住みやすいです。(女性, 50～59歳)
- いなかでも、住みやすい。都会に近い。アクセスしやすい。米、肉、野菜もおいしい！いいところだらけ！(女性, 30～39歳)

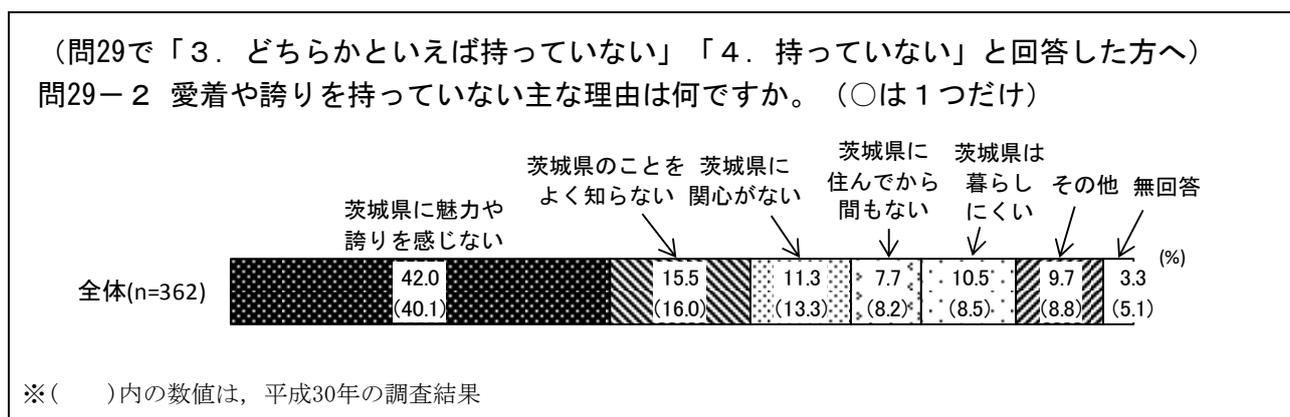
「東京に近い／アクセスが良い」について

【記載内容の一部抜粋】

- 茨城県は、首都圏に近く、交通も便利。そして気候も温暖、住みやすさを誇りに思うべき。(男性, 70歳以上)
- 東京などの場所へ行くにしても方法がたくさんあり、交通機関が利用しやすい所。(女性, 18～29歳)
- 都心のアクセスも便利・近くて、でも自然豊かな土地なので、市街地・都心の雰囲気を楽しめて、のんびりと生活ができる地域柄であることはもっと知ってほしいと思う。茨城から来た、と東京で言う「そんな遠くから?!」と驚かれるので…。(男性, 40～49歳)

(4) 茨城県に愛着や誇りを持たない理由

－「茨城県に魅力や誇りを感じない」が4割超－



茨城県に愛着や誇りを【持っていない】と回答した方に、持っていない理由を聞いたところ、「茨城県に魅力や誇りを感じない」(42.0%)が4割を超えて最も高く、次いで、「茨城県のことをよく知らない」(15.5%)が1割台半ばとなっている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(昨年)と比べると、特に大きな差は見られない。

－70歳以上で「茨城県に魅力や誇りを感じない」が5割台半ば－

年齢別でみると、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、70歳以上(54.1%)で5割台半ばと最も高くなっている。

－60～64歳で「茨城県のことをよく知らない」が約4割－

年齢別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、60～64歳(37.2%)で約4割と最も高くなっている。

－茨城県出身者で「茨城県に魅力や誇りを感じない」が茨城県外出身者より約17ポイント高い－

出身県別でみると、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、茨城県出身者(50.3%)が茨城県外出身者(33.1%)よりも約17ポイント高くなっている。

図Ⅷ 29-2-1 茨城県に愛着や誇りを持たない理由
 (地域別, 性別, 年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)

